西暦　２０２６年7月１６日

「健康ビッグデータ構築事業」参加の健康保険組合に加入されている皆様へ

産業医科大学では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、レセプト・特定健診データなどの医療健康データに、健診データ・労務情報・プレゼンティーズム情報などの企業データを連結した新たなデータベースを構築し、企業や健康保険組合が健康施策を立案するために必要な分析を行う研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和 3 年 3 月 23 日制定　令和 3 年 6 月 30 日施行)」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。但し、産業医科大学は既に匿名化した後のデータを受領しております。そのため、利用拒否の申し出があった際には、ご所属の企業および健康保険組合と相談の上対処させていただきます。利用拒否希望者のデータが既に匿名化されている場合個人を特定することができないため、データからの削除ができない場合がございますのでご了承ください。

１．研究課題名

産業保健データサイエンスセンターデータベースを用いた研究

２．研究期間　　2022 年 6 月 1 日～2028 年 3 月 31 日

３．研究機関　　産業医科大学

４．研究責任者　　産業保健データサイエンスセンター　センター長　藤野 善久

５．研究の目的と意義

産業保健データサイエンスセンターは健康保険組合から健診結果およびレセプトデータ提供を受けたデータベースを構築しています。生産年齢人口が減少している日本において、勤労者の健康管理の重要性は増しています。特に中高年齢労働者や女性労働者の健康管理のさらなる方策が求められており、データに基づいた仮説の検証ならびに仮説を生成する探索的な検討が必要です。そこで、健診結果の有所見者ならびに生活習慣が改善及び悪化した人を特定し、過去の健康診断結果と問診の推移を把握します。ならびに被保険者と被扶養者の受診率の比較を行います。

６．研究の方法

産業保健データサイエンスセンターに蓄積されたデータを用いて分析を行います。健康診断結果と医療機関への受診歴のデータを用います。

７．個人情報の取り扱い

本研究ではすでに匿名化したデータを利用するため、研究者が個人情報を取得することはありません。

８．問い合わせ先

産業医科大学　医学部　両立支援科学　准教授　永田昌子
（093-603-1611 内線 4683）

９．その他

本研究に参加することによる謝礼や直接的な利益および経済的負担はありません。本研究結果より、社内の健康管理施策が充実することが期待されます。

本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公平性を保ちます。資金源は、講座研究費とする。